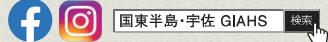




国東半島宇佐地域
世界農業遺産
Kinkazaki Peninsula Uso GIAHS

●国東半島宇佐地域世界農業遺産に関する質問や問い合わせは

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会事務局
(大分県農林水産部農林水産企画課内)
〒870-8501 大分県大分市大手町3-1-1 TEL:097-506-3525



見本

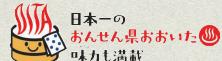
大分県教育旅行誘致協議会

(事務局:公益社団法人ツーリズムおおいた)

〒870-0029 大分県大分市高砂町2番50号 OASISひろば21 3階

TEL:097-536-6250 FAX:097-536-6251

<http://www.visit-oita.jp>



2021.3

国東半島宇佐地域 世界農業遺産



見本

大分県教育旅行体験プログラム <フィールドノート>

国東半島宇佐地域世界農業遺産の体験学習で学べるSDGs



SDGs(エスディージーズ)とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標です。持続可能なよりよい世界をめざして、2030年の目標達成に向けた17のゴールと169のターゲットが設定されています。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

くにさき うさ 国東半島宇佐地域 世界農業遺産へようこそ。



田染荘の水田(豊後高田市)

大分県の北東部、海(伊予灘・周防灘)に突き出た円い国東半島とその西側に続く地域が、今回学習する世界農業遺産に認定された国東半島宇佐地域です。この地域は、雨が少ない瀬戸内海式気候と雨水が浸透しやすい火山性土壤のために古くから水の確保に苦労してきました。山が連なる半島には平野が

少なく、稲作には厳しい環境でしたが、人々はため池を利用した水の循環と、豊富なクヌギ林を利用したいたけ栽培など、自然環境を生かした独自のシステムで農産物を生み出し、伝統文化や景観、豊かな生態系を今に伝えてきました。その世界的価値が認められ、2013年5月、国東半島宇佐地域(豊後高田市、杵築市、宇佐市、國東市、姫島村、日出町)は世界農業遺産に認定されました。



ため池(国東市)



月、国東半島宇佐地域(豊後高田市、杵築市、宇佐市、國東市、姫島村、日出町)は世界農業遺産に認定されました。

見本

ここに注目!

なぜ国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定されたのか?

豊かな自然に恵まれ農業がさかんというだけでは世界農業遺産には認定されません。国東半島宇佐地域の風土を生かして続けられてきた独自の農業システムや伝統文化が、世界的に価値あるものとして世界農業遺産に認定されたのです。

クヌギ林とため池が生み出す農林水産の循環システム

雨の少ない国東半島では、多くのため池とクヌギ林の保水力が貴重な水を供給します。またクヌギ林は原木したいたけの栽培に利用されます。先人たちが作り上げたクヌギ林とため池による「循環型農業システム」が今も持続的に維持されています。

農村の自然や伝統文化、景観を守る地域の大きな輪

国東半島宇佐地域には、特徴ある農林水産業はもちろん、多様な生態系やすばらしい景観、伝統的な農耕文化などが残っています。クヌギ林とため池の連携を軸とした独自の農業システムが、地域をつなぐ循環の輪となって、時代とともに受け継がれてきました。



ここに注目!

なぜ国東半島宇佐地域が世界農業遺産に認定されたのか?	クヌギ林とため池が生み出す農林水産の循環システム	農村の自然や伝統文化、景観を守る地域の大きな輪
豊かな自然に恵まれ農業がさかんというだけでは世界農業遺産には認定されません。国東半島宇佐地域の風土を生かして続けられてきた独自の農業システムや伝統文化が、世界的に価値あるものとして世界農業遺産に認定されたのです。	雨の少ない国東半島では、多くのため池とクヌギ林の保水力が貴重な水を供給します。またクヌギ林は原木したいたけの栽培に利用されます。先人たちが作り上げたクヌギ林とため池による「循環型農業システム」が今も持続的に維持されています。	国東半島宇佐地域には、特徴ある農林水産業はもちろん、多様な生態系やすばらしい景観、伝統的な農耕文化などが残っています。クヌギ林とため池の連携を軸とした独自の農業システムが、地域をつなぐ循環の輪となって、時代とともに受け継がれてきました。



調べてみよう



大分県の乾いたけの生産量は?



国東半島にあるため池の数はどれくらい?



国東半島だけで栽培されている七島蘭とは?

世界農業遺産 (GIAHS) って何だろう?



世界農業遺産とは、食料の安定確保をめざす国際連合食糧農業機関(FAO:Food and Agriculture Organization of the United Nations)が2002年に開始した国際プロジェクトです。次世代に受け継がれるべき伝統的な農業・農法と、それに関連して育まれた文化や景観、



梯田の耕作(中国)



チロ工諸島のばれいしょ(チリ) ©CET/Carlos Venegas

生物多様性などと一緒に重要な農業システム(林業・水産業も含む)を認定し、その保全と次世代への継承、持続的な活用をめざします。「Globally Important Agricultural Heritage System(世界的に重要な農業遺産システム)」の頭文字をとって「GIAHS(ジアス)」と呼ばれます。世界的な重要性、FAOが定める5つの認定基準、保全計画に基づいて評価・認定が行われます。



森林農業(タンザニア) ©FAO/Felipe Rodriguez

見本



ここに注目!

② 農業生物多様性

受け継がれてきた自然の恵みを生かし、さまざまな生き物と調和した農業の仕組みになっていていること。

③ 地域の伝統的な知識システム

その地域で伝統的に受け継がれてきた知識や技術をもとにした農林水産業が行われていること。

④ 文化、価値観および社会組織

その地域ならではの風土や伝統文化を守っていくための組織や仕組みがあること。

⑤ ランドスケープおよびシースケープの特徴

長年にわたり地域の人々と自然が作り上げてきた、山野や海辺の特徴的な風景があること。



調べてみよう



世界農業遺産の数は世界中でどれくらい?



日本では、どのような地域が認定されている?



認定されたら、どんな活動が必要?

国東半島宇佐地域世界農業遺産 体験学習マップ

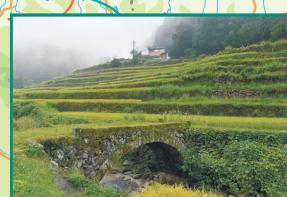
世界農業遺産に関連した体験学習スポットを一覧で紹介します。

それぞれの内容は6ページ以降を参照してください。



鬼会(おにえ)の里

国東半島山間部の天念寺で毎年旧暦の1月に行われる「修正鬼会」を映像などで学習し、国東半島の伝統的な農耕文化についての理解を深めます。



両合(りょうあい)棚田

宇佐市南部の山間にある棚田です。川沿いの急斜面に石組みで作られた江戸時代の棚田が今も残っています。棚田の見学や農業体験ができます。

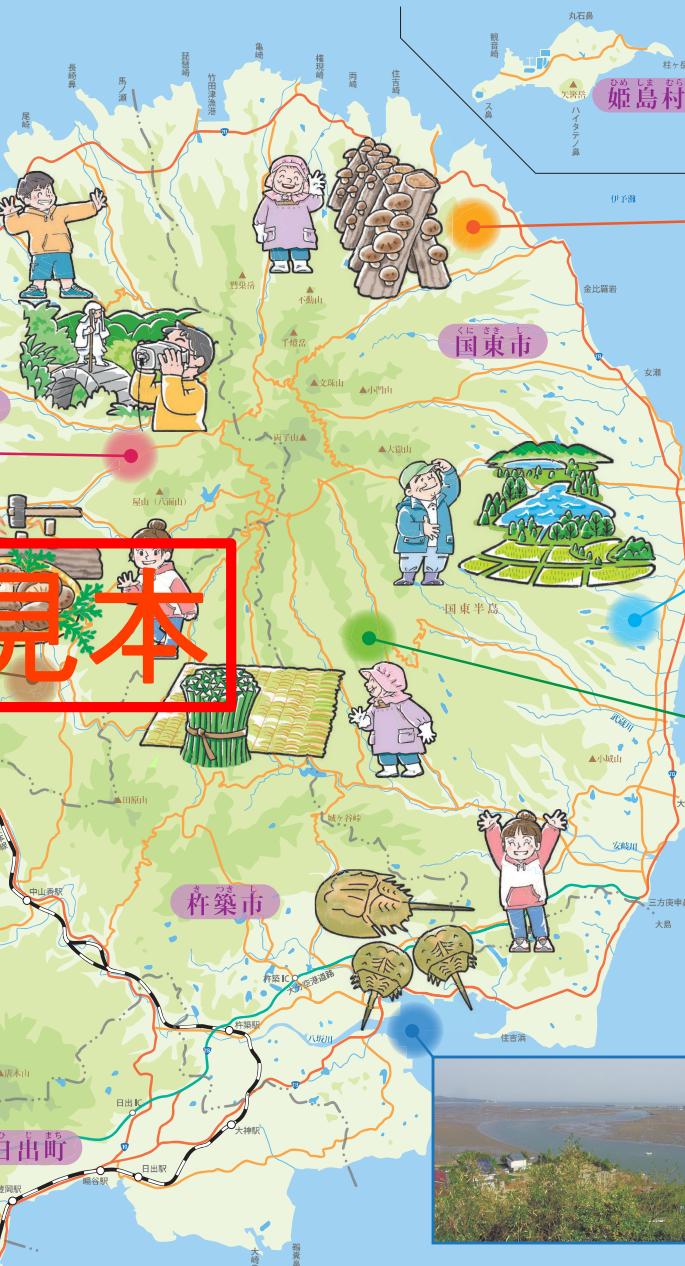


田染莊(たしぶのしょう)

国東半島南西部の盆地にある水田集落。不ぞろいな形の田んぼや水路が中世荘園時代の姿のまま残っていて、日本の原風景といわれる農村景観を見学できます。



見本



国東(くにさき)地区

大分県で盛んなしいたけの原木栽培について学びます。ほだ場（栽培場）の見学や、時期が合えば種菌の植え付けや、しいたけの収穫などが体験できます。



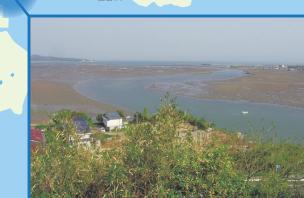
旭日(あさひ)地区

雨の少ない国東半島で、農業用水確保のために先人たちが考え出した、ため池の連携による用水供給システムを学びます。ため池をめぐるウォーキングを実施。



七島蘭(しちとうい)学舎

七島蘭は国東半島だけで栽培されている豊富な材料です。かつては大分の一大産業となっていたものの、今は生産農家が数軒となった七島蘭。その価値や歴史、再生に向けた取り組みなどを学びます。



守江(もりえ)湾

干潟が広がる守江湾には、「生きている化石」カブトガニが生息しています。守江湾の豊かな自然環境を学び、干潟でカブトガニの幼生（子ども）を観察します。

国東半島宇佐地域世界農業遺産 学習テーマと体験プログラム

農村景観について学ぶ 田染荘



国東半島の南西部に広がる盆地に拓かれた集落が田染荘です。この地域に水田が作られたのは千年以上前といわれ、平安時代には宇佐神宮の主要な荘園のひとつとして荘官（荘園を治める役人）の屋敷が置かれました。

地形に合わせて作られた不ぞろいな形の田んぼや集落の地割などが、古文書や古地図の調査で中世からほとんど変化していないことが確認されています。

集落を散策しながら、日本の原風景といわれる農村景観を見学したり、季節によっては田植えや稻刈り体験、また周辺のクヌギ林でしいたけ栽培の見学もできます。

見本

体験プログラムの概要

場所：田染荘（豊後高田市）

内容：農村景観やしいたけほだ場の見学

時間：1時間～2時間程度

時期：通年実施



元禄2(1689)年の田染荘の様子を描いた村絵図。



世界農業遺産認定基準との関わり

- ① 食料および生計の保障
- ⑤ ランドスケープおよびシースcapeの特徴

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 2 持続可能な開発目標
- 15 生態系の保全

6月の田植え体験の様子、景観保全のためさまざま取り組みが行われています。

事前学習のヒント&メモ

田染荘の歴史と特色は？

地域おこしへの取り組み方は？

景観保存の今後の課題は？



国東半島宇佐地域世界農業遺産で学べる主な学習テーマと体験プログラムです。
世界農業遺産の認定基準やSDGsとどうつながっているのかを確認しながら
学習テーマや体験プログラムの選定と事前学習に活用してください。



おにえ 農耕文化について学ぶ 鬼会の里



鬼本

体験プログラムの概要

場所：鬼会の里（豊後高田市）

内容：シアターで修正鬼会、VRで無明橋体験

時間：1時間～1時間半程度

時期：通年実施



岩屋を利用して造られた天念寺講堂。ここで修正鬼会の火祭りが行われれます。



天念寺の横にある鬼会の里歴史資料館。シアター や VR 設備があります。

世界農業遺産認定基準との関わり

- ④ 文化、価値観および社会組織

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 4 生き物の保護をみんなに

修正鬼会（しゅじょうおにえ）とは？

六郷満山（ろくごうまんざん）とは？

文化を守っていくための社会組織とは？

事前学習のヒント&メモ

国東半島宇佐地域世界農業遺産 学習テーマと体験プログラム

多様な生態系について学ぶ 守江湾



見本

もりえ 守江湾



国東半島の南側にある守江湾には9つの川が流れ込み、広大な干潟が広がっています。山や森から運ばれた栄養分で湾内は豊かな海となり、カキ養殖が盛んな漁場であったので、今まで埋め立てられることもなく、自然のままの干潟が残っています。

この湾の干潟には「生きている化石」と呼ばれるカブトガニが生息しています。湾内の砂浜で産卵し、干潟で成長するカブトガニは、守江湾の豊かな生態系を示すシンボルといえます。

体験学習では実際に干潟に入り、守江湾の自然環境や干潟に生息するカブトガニの幼生(子ども)を観察します。

カブトガニは、幼生期を干潟で過ごします。9回目の脱皮をする頃より少しずつ干潟を離れ、近くの海域で成体になります。毎年夏の大潮満潮時に雌雄が一緒にになって産卵にやってきます。



体験プログラムの概要

場所：守江湾（杵築市）
内容：カブトガニの観察
時間：1時間半程度
時期：4月～10月

世界農業遺産認定基準との関わり

② 農業生物多様性

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

6 持続可能な都市
14 生物多様性

ヒント&メモ

事前学習の
生物多様性とは？

絶滅危惧種の動植物は？

いま私たちができることは？

【国東半島宇佐地域ミニ知識①】

- 地域の市町村：豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、姫島村、日出町
- 地域の人口：約168,000人（大分県全体の人口：約1,167,000人）
- 気候：温帯湿润気候（瀬戸内海式気候） ● 地域の主要産業：農林水産業



水田農業について学ぶ 両合棚田



見本

りょうあい 両合棚田

宇佐市南部の山間にある小平と滝貞の二つの集落の間を流れる小平川の两岸急斜面に広がる棚田が両合棚田です。室町時代には耕作が始まり、江戸時代には今のような棚田が築かれていたといわれます。

急な斜面に石組みで築かれた約120枚の棚田（合計42ha）が階段状に連なる風景には思わず息をのみます。集落の人口減少や高齢化が進んでいますが、2016年に両合棚田有形文化財が選定され、地域全体で集落のづくりと景観を守っています。

体験学習では棚田の見学をはじめ、田植えや稲刈り、梅シロップ、柚子こしょう作りなど予定されています（実施時期限定）。



体験プログラムの概要

場所：両合棚田（宇佐市）
内容：棚田見学、農業体験など
時間：2時間～3時間程度
時期：通年実施

世界農業遺産認定基準との関わり

① 食料および生計の保障
⑤ ランドスケープおよびシースケープの特徴

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2 持続可能な開発目標
15 生態系の保全



学習の場となるコミュニティハウス「むっからや」。麦わら（藁）の家という意味です。

ヒント&メモ

事前学習の
棚田はどのようにしてできたか？

どんなお米を作っているか？

棚田を守るために取り組みは？

国東半島宇佐地域世界農業遺産 学習テーマと体験プログラム

農業の再生について学ぶ 七島蘭学舎

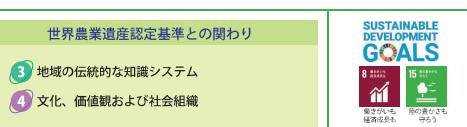
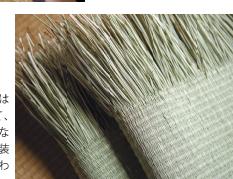
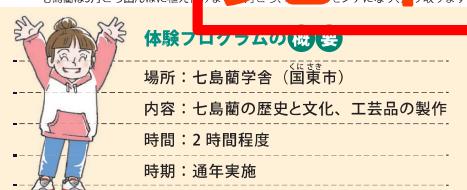


国東半島宇佐地域の農産物の中でも、全国でここだけしか作られていないものが、畠表に使われる七島蘭です。江戸時代に豊後の商人がトカラ列島の七島蘭を持ち帰り、豊後の特産品として全国に広め、その後大分県の一大産業となりました。

七島蘭はイグサの5~6倍の強度があり、肌触りもよいのですが、栽培や加工に手間かかり、昭和40年代から衰退し、生産農家も数軒となってしまいました。平成22年に「くにさき七島蘭振興会」が発足し、七島蘭産業の再生に取り組んでいます。

国東市にある七島蘭学舎では、歴史を学んだり、七島蘭の小物作りが体験できます。

見本



現在の七島蘭は高級品として、また和モダンなインテリアや装飾品などに使われています。

ヒント&メモ

七島蘭の名前の由来と特徴は?

なぜ衰退していったのか?

再生への取り組みは?

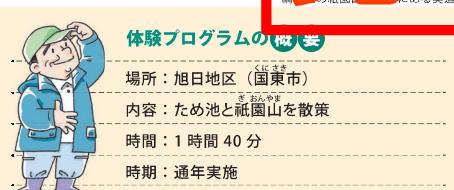


【国東半島宇佐地域ミニ知識②】



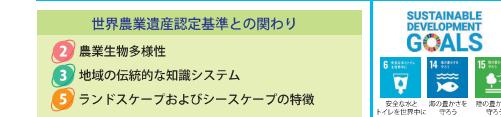
- 国東半島の中心にある両子山(標高 720.6 メートル)から海岸線までは約 20 キロ。
- 両子山から放射状に延びる尾根と深い谷のため平野が少なく、川は短く急こう配。
- 雨水が浸透しやすい火山性土壤のため、昔から水の確保に苦労してきた地域。

用水供給システムについて学ぶ 旭日地区



雨が少なく、降った雨もすぐ流れてしまう火山性土壤の国東半島では、昔から農業用水の確保に知恵が絞されました。クヌギなど広葉樹の腐葉土が蓄えた雨水を、ため池を作って貯めておき、これを用水として使う方法が考え出され、さらに水の供給を安定させるため、複数のため池を作つて用水路でつなぐという、独自の画期的な用水供給システムが江戸末期から明治にかけて構築されました。

体験学習では、ため池の歴史や用水供給システムを学んだあと、実際にいくつかのため池を歩いて巡りながら、ため池の構造や用水路などを見学します。



ヒント&メモ

ため池の水位の調整は?

ため池の維持管理は誰が行う?

保全への地域の取り組みは?

国東半島宇佐地域世界農業遺産 学習テーマと体験プログラム

地域の農業について学ぶ 国東地区



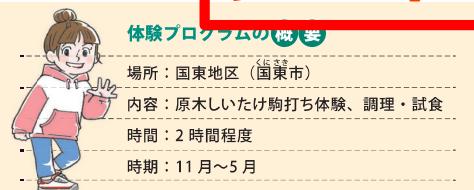
見本



大分県を代表する農業であるしいたけ栽培が始められたのは約400年前の江戸初期からといわれます。しいたけ栽培に最適なクヌギ林が豊富にあり、早くから栽培方法が工夫されてきました。伐採しても10～15年で育つかねぎの成長の早さも、しいたけ栽培には有利な自然環境でした。

国東市でも、伐採したクヌギ(ほだ木)に種菌を植え付けて、その後約1年半かけてしいたけを育てる「原木栽培」が行われています。

体験学習では、菌を植え付ける「駒打ち」や、ほだ場(栽培場)でのしいたけ収穫などが予定されています(実施時期限定)。



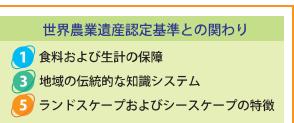
体験プログラムの概要

場所：国東地区（国東市）

内容：原木しいたけ駒打ち体験、調理・試食

時間：2 時間程度

時期：11月～5月



- ① 食料および生計の保障
- ③ 地域の伝統的な知識システム
- ⑤ ランドスケープおよびシースケープの特徴



- 2 経済成長と社会的持続可能性
8 経済成長と社会的持続可能性
12 継続可能な消費と生産
15 生物多様性



原木栽培と菌床栽培の違いは？

しいたけの種類は？

しいたけ栽培の今後の課題は？



事前に

今回の研修で取り組む学習テーマを決め、事前に学習したことまとめましょう。

●国東半島宇佐地域世界農業遺産での体験学習テーマは？

①

②

③

●その学習テーマに決めた理由を書きましょう。

見本

①

②

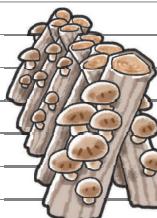
③

●現地で確認したいことや、聞きたいことは？

①

②

③



現地で

現地の体験学習で気づいたことや、
発見したことなどを記録しておきましょう。

●事前学習で調べたことは、現地で確認できましたか？

①

②

③

●現地で出会った人と、教えてもらったことは？

①お名前：
内 容：

②お名前：
内 容：

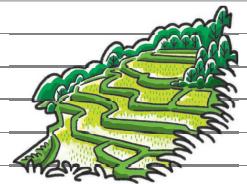
③お名前：
内 容：

●体験学習などで気づいたことや、新たに発見したことは？

①

②

③



研修後

今回の体験学習を通じて学んだことは？
もっと調べたいことや、今後の課題は？

●今回の体験学習で最も印象に残っていることは？

①

②

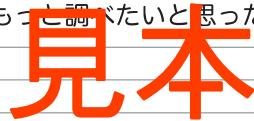
③

●疑問に思ったことや、もっと調べたいと思ったことは？

①

②

③



●国東半島宇佐地域世界農業遺産の今後の課題は？（あなたの提案）

①

②

③

